

第3回環境審議会(書面開催) 会議録

(1) 第2回環境審議会会議録(案)の確認について

該当箇所	修正前	修正後
6頁18行目	「ば環境家計簿も～」	「ば環境家計簿の取組も～」
6頁18行目	「子供は素直に取り組むが、批判的にその意味を聞いてくる保護者もいるので、～」	「子供とともに～」
6頁下から14行目	「～地域には老荘青様々な方がいるので、そうした方々に～」	「～地域の様々な方々に～」
6頁下から11行目	「～雰囲気になってくれると、～」	「～雰囲気にもっとなれば、～」

(2) 第2次環境基本計画後期計画の重点プロジェクトの進捗について

該当箇所	委員質問・意見	事務局回答
1頁 1) ① ア. LED証明器具助成制度	LED・・・年間電力(CO2)削減量が工事費と購入費に分かれている?算出法365日OKですか	年間電力削減量は、工事費助成、購入費助成それぞれで、「1台あたりの蛍光灯とLED照明の消費電力の差分×1台ごとの点灯時間(年間平均)×365日」で計算しています。年間CO <sub>2</sub> 削減量は、年間電力削減量にCO <sub>2</sub> 排出係数を乗じることで算出しています。
1頁 1) ② イ. 環境家計簿	環境家計簿・・・何か表彰すべきいいアイデアが出ましたか	環境家計簿の取組結果については、表彰はしていませんが、ホームページ上で学校ごとの参加率や一人当たりCO <sub>2</sub> 削減量のランキング上位校を発表したり、児童が記入したコメントの一部を公表することで、児童の参加意欲を高めています。
3頁 1) ③マイバッグでお買い物	エコバッグやレジ袋有料化・・・それでもプラごみ増えている・・・何か対策は?	コロナ禍で各家庭での在宅時間や出前・テイクアウト等の利用の機会が増えたこともあり、令和2年度の家庭からのプラスチックごみ収集量は前年度よりも約6%増加しています。対策としては、レジ袋の有料化の周知を始めとしたプラスチックごみ削減に向けた啓発をより効果的に、継続して行っていくことが重要と考えます。
	幅広く取組が実施されており、問題ないと思われま	
1頁 1) ① ア. LED証明器具助成制度	LED器具助成など都の助成金が得られるものは、今後も積極的に市民へ情報発信して行ってほしい。特にLEDは、CO <sub>2</sub> 削減だけでなく、水銀を削減する視点からも推進していく必要があると思う。地道な活動になるかもしれないが、長い期間継続して続けて行ってほしい。	LED照明器具助成制度については、各家庭での取組が比較的容易で、高い省エネ効果が得られることから、令和3年度も実施する方向で、6月議会において予算要求を行う予定です。
1頁 1) ① ア. LED証明器具助成制度	消費電力の削減は省エネルギーの基本であり、LED化の施策は依然、効果大と思います。令和3年度の施策継続に向け、既に計画されていることと思いますが、施策周知と年間を通じての活用等、助成の工夫を期待します。	令和3年度のLED照明器具助成制度については、1ヶ月以内に予算額に達して申請を打ち切らざるを得なくなったことなどのこれまでの改善点を踏まえ、助成制度の見直しを行う予定です。
	令和2年度はコロナ禍で重点プロジェクトの推進にもご苦労があったと思います。推進努力に感謝します。	

	<p>「小学校での出前事業」の拡大が望まれるが、市の予算が限られた中で単独で行うのは非常に厳しいと思う。是非次年度は「市民との協働体制」で進めることを検討してほしい。ご協力できると思う。</p> <p>「ビオトープ改造大作戦」の「学校や地域全体でビオトープの維持管理を長期にわたって行う仕組み」や「他の学校でのビオトープ再生事業」でも、上記同様にご協力できるので、是非「市民との協働体制」を検討してほしい。</p> <p>「活動主体の支援・育成」も同様に、是非協力したい。</p>	<p>「市民との協働体制」については、審議会でのご意見を参考に、様々な分野で活動されている市民や団体等とどのような事業を行えるか等について、検討していきたいと考えます。審議会委員の皆様のご協力をいただければ幸いです。</p>
--	--	--

(3) 第2次環境基本計画後期計画の施策の進捗について

該当箇所	委員質問・意見	事務局回答
1頁 (1)環境フェスティバル	環境フェスティバルが令和2年11月22日（日）あって121名が参加・・・小生この催物知らなかった。PRの方法は？	環境フェスティバルのPRについては、事前に市報・ホームページ・市内掲示板・エコ羅針盤・市長記者会見等で行いました。今後のイベント開催時には、より効果的な周知方法について検討させていただきます。
2頁 (2)フードドライブの実施	フードドライブに実施・・・年1回で十分でしょうか。出ず側ももう少し多い方が多くの方が参加できると思いますが。場所と回数とPRの仕方など	西東京市社会福祉法人連絡会が平成30年度より主催しているフードドライブは、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、年1回の開催となりました。例年は、年間複数回のフードドライブを実施していると伺っております。市の公共施設での食品の受取場所は、前は3ヶ所に増設しましたが、引き続き受取場所の増設や効果的な周知方法等について検討させていただきます。
	コロナの影響もあり、活動が難しかった1年であったと思う。この先もしばらくは同じ状態が続くと思われるので、担当課同士で調整し、無理に推進するのではなく、現在の状況に合った活動に見直しを図っても良いと思う。出来るものと出来ないもの、形を変えれば出来るものの整理からされても良いように思う。	ご指摘の通り、令和3年度以降も、新型コロナウイルスの感染状況に応じたイベントや活動の是非について整理・検討し、実施できる活動は感染対策を万全に行った上で実施し、オンラインでの活動の実施等についても検討したいと考えています。
	コロナ禍でのイベント開催のご尽力に感謝します。	
1頁 (1)環境フェスティバル	<p>「環境フェスティバル」は、一昨年まで「市民のアースデイフェア西東京」と同時開催で行って、来場者数向上等の成果があったとされていた。</p> <p>次年度も、市民側と市の予算に配慮しながら同時開催する方向で検討したいので、是非同時開催の方向で検討してほしい。(費用対効果も上がるはず。当方は、事務局として運営を担っているため、十分実施可能と考えられる。)</p> <p>※2021年5月に、フレスポひばりヶ丘2階イベント広場で&lt;春のミニフェス&gt;を開催予定</p>	<p>「環境フェスティバル」は令和元年度までは西東京いこいの森公園で「アースデイ西東京」と同時開催で行っていましたが、実施方法を見直し、令和2年度はアスタ西東京センターコートで11月に実施し、令和3年度も同会場11月に実施する予定です。令和4年度以降の環境フェスティバルについては、今後の実施状況を踏まえ、実施会場・実施時期等を含め、改めて検討させていただきます。</p>

(4) 令和元年度西東京市環境白書・環境活動レポートの報告について

該当箇所	委員質問・意見	事務局回答
	<p>このレポートは誰に提出し、誰が読むことを期待しているのですか、政府？西東京市環境方針(p.3)にある市役所？ですか、それとも市民？</p> <p>このレポートの本来の目的は「昨年より西東京市の環境のこんな点がよくなりましたよ。よくするにはこんな問題があることが分かったです。そのためには？などを市民に周知することが良いと思うのですが。</p>	<p>「環境白書・環境活動レポート」は、毎年度ホームページに掲載し、市民を始め、西東京市の環境について関心のある方にご覧いただけるようにしております。また、市の首脳部会議において市長を始め部長級職員に提出した他、職員用端末にデータを掲載し、職員が自席の端末で閲覧できる状態にしております。市民・職員等が「環境白書・環境活動レポート」を参照することで西東京市の環境の良い点や課題等を認識し、今後の市の環境改善の一助となることを期待しております。</p>

5 頁「西東京市の概要」	事業所の概況の代表者、みどり環境部長が発行時点では変わっているので、<〇年〇月現在>の表示を入れても良いと思う。令和元年度のレポートを令和2年度に発表するので、レポートの内容年にするのか、発表年にするのか、誤解を招かない様にはどうか。	令和3年度に作成する「環境白書・環境活動レポート」において、ご指摘の点を含め、誤解を招かないような標記・表現に改めます。
--------------	---	--

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西東京市の環境取り組みは良好であり、基本方針の指標も明確で良好と思います。</li> <li>・西東京市の組織を挙げての環境活動の推進状況が良く分かります。</li> <li>・市民に環境活動を知って貰うこと、参加してもらうこと、参加している実感を持ってもらうことが大切だと思います。</li> </ul>	
	環境に対する市民の関心を向上させるために尽力願っていますが、西東京市が他の自治体に比して優れている又は劣っている指標をもっとPRすることで、市民の関心を一層向上できるにではないかと思います。環境活動レポートの中で、他の自治体と環境指標比較を検討されたことはありますか。	他の自治体でも「環境白書・環境活動レポート」に類似する年次報告書を作成・公表しており、他の自治体の環境指標の確認・比較は随時行っております。「環境白書・環境活動レポート」は第2次環境基本計画後期計画の取組状況の報告書であり、計画期間中の環境指標の変更はできませんが、ご指摘を踏まえ、次期計画である第3次環境基本計画の策定の際は、他市の状況を参考にしながら、当市の環境指標として最適な指標を検討したいと考えております。
10頁 基本方針4	環境活動レポートの基本方針4に、大気、水質、騒音の監視活動と指標が掲載されています。いずれも、西東京市が直接アクションを採れない指標といえます。環境監視は重要なことではありますが、基本方針の中では優先順位がさらに低いのではないのでしょうか。次の段階で、基本方針の優先順位見直しを予定していますか。	ご指摘の通り、基本方針4の環境指標については、いずれも西東京市の対策により直接、短期間で効果を出すことが困難であると考えられます。次期計画である第3次環境基本計画の策定の際は、一から基本方針の見直しを行います。その際、現行計画の基本方針4とその環境指標についても、当市の環境基本計画として最適なものになるよう、見直しの検討を行う予定です。
	<p>基本方針2で述べられている中の「歴史的及び文化的環境資源の保全・創出活用」について、LEDの導入や小学校との連携で子どもたちの意識を高めて大いに環境への意識・関心はあがってきました。しかし、市の歴史的環境などの啓発や広報はまだ十分軌道に乗っていないように思います。</p> <p>下野谷遺跡についても少しずつ市の取組は進んでいて、今後の進捗に期待していますが、もっと力を入れて、旧田無宿のこととか、古い碑とか、郷土資料館だけではなく、市全体の歴史を広報したいものです。街めぐり(日曜などに半日以内で案内する)なども考えていきたいですね。郷土資料館ツアーバスなんてどうですか？</p>	下野谷遺跡などの市の歴史的環境や郷土資料館等は、教育部社会教育課が所管部署になります。頂いたご意見については、社会教育課に伝え、同課で検討させていただきます。
26頁 合成洗剤削減への取組	・P26の合成洗剤削減への取り組みは水質の改善においては重要と思います。他の自治体ではあまり見かけない取り組みだと思いましたので導入にあたりご苦労されたと思います。ぜひ家庭や法人にも広がるような広報活動を期待したいですが、何か広報活動に具体的になさっていることがあれば教えてください。	合成洗剤削減の取組は、環境保全課で環境物品調達ガイドラインを策定し、庁内の公共施設管理担当者に合成洗剤削減の呼びかけを行い、可能な限り市の公共施設における石鹸への切り替えを図っております。家庭や法人等への広報活動は現時点で行っておりませんが、今後市報やホームページ等を通じた対外的な広報の可否について検討させていただきます。
26頁 コピー用紙使用削減への取組 3 教育支援課	とても地味ですが会議資料を二人で一部にされたことも評価したいです。私の法人でも取り入れてほしいと思っても一職員だとなかなか言い出しづらいですが、市の職員がされていることから法人にも広がるとありがたいです。	ご評価いただいた取組については、先進的な環境配慮行動として庁内の他部署に積極的に周知する他、市報やホームページを通じた対外的な周知についても検討させていただきます。
	市民への環境意識向上活動、子ども達への環境教育・環境学習の推進に関して、資源・資金の有効利用の観点からしても、是非「市民協働」を進めてほしい。ご協力できます。	審議会からの意見や助言等を参考に、コロナ禍においてできる「市民協働」を検討し、可能なものから取り入れていきたいと考えます。

(5) その他、全体を通してのご意見やご質問等

該当箇所	委員質問・意見	事務局回答
	<p>環境問題は重要で広範囲でしかも生活に直結している部分だと思います。この審議会が以前に決めた目標やプロジェクトの進捗状況をチェックするのは当然ですが、今起きている身の回りの環境問題を取り上げ、それを市民と一緒に取組める環境づくりも大切のような気がします。「西東京市に住んでよかった・・・だって、生活環境がいいんだもの。市の環境部はよくやるよな」そんな街になればよいなと思っています。それには市の役割と市民の役割があると思います。住みやすい街にするには市民にも応分の負担が必要です</p>	
	<p>本審議会は限られた回数で限られた時間で行われます。審議会でより密度の高い、内容のある意見交換ができるよう、本メンバーにメールで意見交換できるようメンバーのメールアドレスを交換することについて検討して頂きたい。</p>	<p>審議会委員のメールアドレスの交換については、次回の審議会において、委員からご提案いただき、各委員のご意向をご確認いただきたいと思います。</p>
	<p>1年間お疲れ様でした。対面でないと、なかなか意見が出ないと思います。事務局は大変かと思いますが、早期に対面会議が出来る様になることを望みます。Web会議でも良いと思います。</p>	<p>今回は緊急事態宣言下ということから書面開催とさせていただきます。今後の感染状況に応じ、対面での開催が困難な場合は、Web開催を含め、開催方法について検討させていただきます。</p>
	<p>文化的環境の整備に力を入れてほしいです。具体的には、音楽ホール(あることはあるが、少人数用とかきめ細かく)、図書館の新設。</p>	<p>短期的な実現は困難とされますが、頂いたご意見につきましては、公共施設マネジメント課や音楽ホール、図書館を所管する部署にお伝えさせていただきます。</p>
	<p>私は西東京市内の社会福祉法人で勤務しております。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人的に裏紙を集める入れ物を作り、コピー用紙使用削減に取り組んでいます。一方、裏紙として使用できるものが個人情報保護の観点からシュレッダーにかけることも多いことで限られています。シュレッダーゴミの再利用については燃えるゴミとして処分されています。こちらが再資源化することが可能なのかどうかと思っています。</li> <li>・またペーパータオルの吸水が悪くて一度の手洗いで2～3枚使用している職員が多く、ゴミは増えることと資源がムダであることから、吸水のもう少し良い紙質のものに変えて「一度の手洗いで一枚のペーパータオル使用」の広報を職場で提案しましたが、関心が低く未だ実現に至らずにもどかしい気持ちです。市の広報力に期待したいです。</li> </ul>	<p>ごみ減量推進課に確認したところ、市が収集する家庭ごみに関しては、シュレッダーごみは古紙として回収し、資源として再利用しております。法人から出る事業系ごみは、法人が契約する収集業者により、シュレッダーごみを可燃ごみとする業者、資源ごみとして再利用に回す業者に対応が分かれています。そのため法人として、シュレッダーごみを資源ごみとする業者を選択することにより、シュレッダーごみを再利用することが可能となることとあり、これも法人としてできる「クールチョイス」の取組の一つであると思われます。</p> <p>また、ペーパータオルの使用量を削減するために、吸水性に優れた紙質の物を選択することも、「クールチョイス」の取組の一つになると思われます。</p> <p>環境保全課として、市民や事業者に向けて、こうした省エネや環境保全のための様々な身近な取組を「クールチョイス」として普及啓発できるよう、広報活動に更に力を入れていきたいと考えております。</p>